

合気道



埼玉県合気道連盟 創立三十五周年記念 合同講習会・懇親会

埼玉県合気道連盟

県立武道館 スポーツフェア報告

合気道桶川愛気会

全日本合気道演武大会

合気道和光道場

新規加盟道場紹介

合気道熊野塾彩新道場 / 本庄合気会 / 合気道金子道場

彩のなでしこ

深谷合気会

埼玉県合気道連盟 Vol.36

報 告 道 場 行 事

埼玉県合気道連盟 創立35周年記念

合同講習会・懇親会のご報告

埼玉県合気道連盟 佐々木 淳一

梅雨特有の蒸し暑い空気に夏雲と青空が広がった7月2日(日)、埼玉県合気道連盟の35周年を記念する節目の合同講習会が、合気道本部道場・植芝充央道場長をお招きし、埼玉県立武道館主道場で開催されました。

今回の合同講習会は、埼玉県合気道連盟の節目の周年記念大会となり、東京都合気道連盟、神奈川県合気道連盟、栃木県合気道連盟、茨城県合気道連盟など、他の都県からのご参加もいただき、埼玉県立武道館の主道場で盛大に開催することができました。今回、講習会に参加した埼玉県合気道連盟加盟32団体、他都県合気道連盟4団体、合計273名の合気道家たちは、植芝充央先生

のご指導で精一杯の稽古に励みました。約2時間の講習内容は、

- 一、準備運動
- 二、合気道の基本動作の説明
「入身・転換・円い捌き・呼吸法」
- 三、転換法 体の転換
- 四、正面打ち 入り身投げ
- 五、座技 正面打ち入り身投げ
- 六、正面打ち 一教
- 七、座技 正面打ち一教
- 八、横面打ち 四方投げ
- 九、肩取り 二教
- 十、半身半立ち 片手取り四方投げ
- 十一、半身半立ち 両手取り四方投げ
- 十二、後ろ両手首取り 小手返し
- 十三、後ろ両肩取り 十字投げ

十四、両手取り 天秤投げ
十二、両手取り 天地投げ
十三、座技 呼吸法 背中伸ばし
といったものでした。しっかりと投げが出来る60畳ある広い道場での稽古は、植芝先生の丁寧なご指導で引き締まった講習会となりました。

その後、会場を「東武バンケットホール」に移し、約100名が参加する懇親会が行われました。はじめに植芝充央先生のお祝いのお言葉をいただき、さらに懇親会からご参加いただいた全日本合気道連盟・尾崎响理事長、同じく懇親会から参加の神奈川県合気道連盟・武田義信理事長、東京都合気道連盟・藤城清次郎理事長、栃木県合気道連盟・大谷英男会長にお言葉をいただきました。その後、千

葉県合気道連盟からの祝電披露と県連理事長志木合気会の三輪明先生ご挨拶、県連常任理事・合気道桶川愛氣会の吉田忠明先生の乾杯で開会となり、途中には県連加盟道場の自己紹介を行い、恒例となった県連副会



長て合気道と光道場川路昌治先生のお言葉でお開きとなりました。

埼玉県合気道連盟では、全日本合気道連盟の指導の下、新規加盟道場をはじめとした道場間の円滑な親睦を図れる様に講習会等の活動を行って参りますので、引き続き合気道本部道場ならびに全日本合気道連盟加盟団体の皆様には、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



県立武道館 スポーツフェア報告

合気道桶川愛気会 林 豊

5月14日(日)、県立武道館主催による、スポーツフェア2017が開催されました。当日は、レクリエーション団体による発表や、各武道団体による演武がおこなわれました。

これは埼玉県立武道館、最大規模の行事で、合気道連盟に参加協力の依頼があり、合気道を県内に広く普及するために参加する事になりました。

まず、武道教室に通う子供達が、普段と違った緊張感の中での初めての演武をし、次に指導担当者演武、その後4月に行われた、県連少年少女合気道錬成大会の優秀団体で、吾妻先生率いる狭山市合気道同好会と合気道自然館の子供達15人が息の合った元氣一杯の演武を披露。

引き続き新郷合気会、大久保先生による総合演武は、座技、半身半立ち、立ち技と、見ごたえがあり大変勉強になりました。合気道と光道場からは、様々な状況から襲われたときの護身術演武をして頂きました。「次はどんな護身術があるのだから？」

と、合気道に興味を持たれた方が、増えたのだと思います。

正午になり、準備体操の後、吉田先生の指導の下、体験教室が始まりました。

一、気を合わせる

二、崩しの基本 (三角法・隅落とし)
三、体捌き 片手取り回転・交差取り入り身

四、呼吸法 座位呼吸法

吉田先生のお手本を見て、参加者に実際にやってもらいます。慣れない動きの中、小さな子供からご年配の方、他の武道関係の方々でも楽しそうに体を動かし、汗を流していました。大勢の方に参加を頂き、あつという間に閉会の時間となってしまいました。

昨年の参加者は73名でしたが、それを上回り、今年は91名と大盛況でした。

今回の体験教室などを通じて、合気道を身近に感じてもらい、少しでも興味を持っていただけたのであれば、体験教室として大成功であり、貢献ができたのではないかと思います。

今回、このような場を提供して頂いた主催の埼玉県体育協会及び武道館の関係者ならびに応援に来て頂いた連盟各道場の方々に感謝致します。

全日本合気道演武大会

合気道 and 光道場 加藤 幹也

「これまで、全日本合気道演武大会には、合気道 and 光道場の道場生の一員として参加し、川路師範の技の

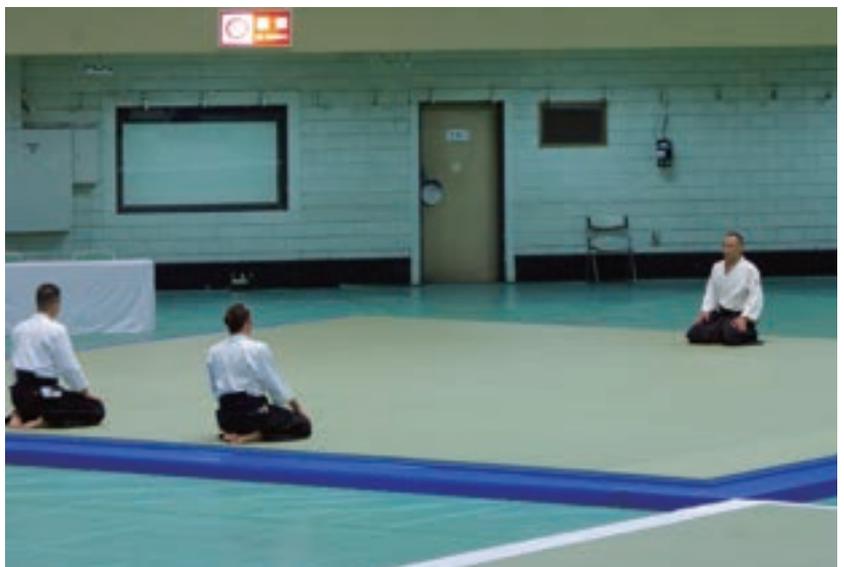
受けを取らせていただいております。毎年、演武会の開催日が近づくと、稽古の中で、川路師範の技が徐々に厳しくなってくるのを体



で感じ、当日を迎えていました。ところが、今年は例年とは異なり、3月初旬、川路師範より、埼玉県指導者演武として推薦の知らせを受けました。師範より推薦していただいた有難さを感じるとともに、この様な大役に対し、未熟な自分が務められるかという不安がつのりました。そこで、演武会当日までに何ができるかいろいろと悩みましたが、「演

武のための稽古をするのではなく、日々の稽古の積み重ねがいい演武につながる」と心に決めました。すぐに上達するほど、

甘くないのが合気道ですが、たとえ薄紙一枚を積み重ねていくような進歩でも、必ず、いい演武につながるかと信じ、休まずに稽古に励みました。演武内容については、自分らしさ、また、川路師範の基本ができていればどんな動きでも対処できるという教えから、和光道場らしさを表現したく、上段突を中心に構成しました。演武会当日、自分の出番が近づいても、意外に冷静な自分があり、演武では普段通りの動きができました。結果として普段の稽古通り、和光道場らしい力強い技の表現で、悔いのない演武ができたと感じております。しかし、まだまだ未熟であり、川路師範に一步でも近づけるよう、今まで以上に合気道の稽古に励んでおります。最後になりましたが、本機会を与えて下さった、埼玉県合気道連盟



の諸先生方、ならびに、川路師範をはじめ、日々の稽古を共にしている合気道 and 光道場の道友の皆様方、また、今回の受けを快く引き受けて頂きました。寺本氏、プレシ氏に感謝いたします。そして、いつも自分を支えてくれ、合気道中心の生活に協力してくれた妻や娘たちにも感謝します。今後とも稽古に精進していきます。ありがとうございました。

新 加盟道場紹介

（上里町）合気道熊野塾彩新道場

田沼 正樹

合気道熊野塾彩新道場は、平成9年4月に発足しました。

道場長である私は、昭和60年に群馬県高崎市の山徳道場で合気道を始めました。その後、平成7年より

和歌山県新宮市の合気道熊野塾道場で、当時まだご健在だった引土道雄先生よりご指導をいただく機会を得て、以降定期的にお世話になることとなりました。

私はすっかり熊野塾道場に魅せられ、一時は引越すことも考えました。しかしそれは難しいので、せめて熊野塾道場に定期的に通い、そこで学んだ事を生かして稽古できる場所を作ろうということで、地元である本庄市の公共施設を借りたのが、この道場の始まりでした。

道場を始めるにあたり、私が当時考えていた道場名の構想は、熊野塾道場の拠点である和歌山県新宮市の「新」の字を使うことで、熊野塾道場にあやかりたいということでした。これに加え、妻から「埼玉県でやる

のだから彩の国の「彩」を使った方が良い」という助言もあり、道場名を「合気道彩新道場」としました。

平成11年4月、私が本庄市から隣町で埼玉県の最北端である上里町に引越すことになりましたので、これを機会に新居の敷地内に一緒に道場を建てました。こうして名前だけでなく建物としての「合気道彩新道場」も道場開きとなりました。

私は、道場を建てた後も毎月熊野塾道場に通う日々が5年ほど続きました。引土道雄先生が平成16年に亡くなられてからも、事あるごとに熊野塾道場で学ばせていただいたので、平成28年9月に、熊野塾道場より正式に支部として認めていただくこととなりました。それに加え、今回埼玉県合気道連盟への加盟も認められましたので、このタイミングで道場名も「合気道熊野塾彩新道場」と、熊野塾道場の支部であることを明確にしました。私は、今でも定期的に熊野塾道場の高段者から指導を受けており、その事を基本とした稽古を行っております。

稽古日時は毎週火、水、金曜日の午後7時30分から9時10分位までと、日曜日の午前9時30分から11時30分までです。

道場は52畳あり天井も高く、個人道場としては県内でも広い方ではないかと思えます。玄関を入るとその瞬間に縦長の道場の一番奥の神殿が見渡せ、みんなの気持ちしが神殿に集中するようになっております。

今年「合気道彩新道場」と名乗ってから20年が経ちました。10月14日（土）15日（日）の2日間、道場設立20周年記念行事を開催する予定です。

みなさまま宜しくお願いいたします。



(本庄市) 本庄合気会

本年より埼玉県合気道連盟に加
盟させていただきました本庄合気
会の紹介をさせていただきます。

本庄合気会は平成20年に田沼師
範が指導されている上里町の合気
道熊野塾彩新道場の姉妹道場とし
て設立し、昨年度までは彩新道場
と同じ群馬県合気道連盟に所属
しておりました。

現在は週1回(毎週土曜日)本
庄市立児玉中学校の武道場にて稽
古しております。

彩新道場が大人向けの稽古内容
ですので、本庄合気会の稽古は基
本的な内容を中心に子供たちや初
心者が無理なく稽古できるような
掛けております。

道場生は初心者を中心ですが、
小学生から60代まで幅広く、少年
部の人数が多いのが特徴です。

姉妹道場の彩新道場とは密接な
関わりがあり、道場生の行き来も
盛んです。

両道場間で相互に稽古に参加で
きる仕組みがあり、彩新道場と合

わけると週5
日の稽古が可
能です。

はじめに本
庄合気会に入
会して合気道
にはまってし
まい、本庄合
気会の稽古日

数だけでは物
足りなくなっ
て彩新道場の
稽古に参加す

る人や、基本
の復習のため
に彩新道場か
ら稽古に参加
する人が多く
います。

大人と少年
部はあえて時
間、クラスを

分けず、一緒
に稽古をして
おります。

大塚 康司

大人同士、子供同士のようには
格に近い方が稽古しやすいので
すが、自分よりとても大きな人の
ても小さな人と稽古することに



よって、合気道の体裁きや呼吸力
がより養われると思います。

余談になりますが、道場のある
本庄市児玉町は山が近く自然が豊
かで、夏に道場の窓を開けておく
とカブトムシやクワガタが飛んで
くることもしばしば、子供たちは
大喜びしています。

合気道の行事への参加も積極的
に行っており、全日本少年少女合
気道錬成大会は少年部において大
きな行事となっています。初回は
数名での参加でしたが、今年は16
名で参加するまでになりました。
子供たちも稽古熱心でこの時期に
なると準備のために1時間以上も
前に道場にきて自主稽古する子も
多くいます。

本庄合気会は合気道に興味のあ
る方が、初心者の方から通いや
すい道場として埼玉県合気道普
及に貢献していきたいと考えてお
ります。

これから埼玉県合気道連盟の講
習会や少年錬成大会などの行事に
参加できることを楽しみにしてお
ります。指導者も道場もまだまだ
発展途上ですが、今後ともご指導
の程、どうぞよろしく願います。

(東松山市) 合気道金子道場

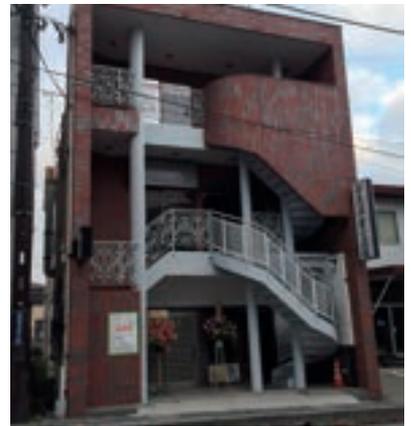
金子 敏行

平成28年1月10日に道場を創設し、初稽古を行いました。73才にしての創設ですからかなり遅いほうでしょう。70才になってから道場を持ちたい気持ちが強くなり物件を探しておりました。幸運にも72才のときに東松山駅西口徒歩2〜3分のところに鉄骨造二階建ての売り物件があ



りました。買うか他を借りるか考えましたが、家賃はいくら払っても戻らないが、買えば家賃を支払わなくてもすむという結論に達しました。初稽古は子ども1人、大人1人で始まりました。2月には4人になり3月には6人となり、少しづつ増えてきましたので指導し易い状況でよかったですと思っています。現在は、子どもクラスが12人となりかなりにぎやかになってまいりました。大人クラスは常時4、5人位です。時々忘れた頃に来る人もあります。大人はいろいろな事情があつて稽古できない状況があるようです。指導方法について述べてみようと思います。

- 一、楽しく稽古ができるように気を配る。道場生の個人差、特質、性別などに考慮してけがをさせない。マイナス言葉はできる限り使わない。「まだデキナイのか」「ダメだな」とか、子どもの場合には特に励ます言葉を見つけるようにしています。
- 二、最大の強敵は自分だということ



合気道が好きでも、今日は稽古に行きたくないなど思うときがあります。何か理由をつけてサボろうとします。そんな自己との闘いに勝つこと。正しい自分と悪い自分が現れます。いろいろな欲が常に出てきます。人のためになるのか、自己のためだけなのか、欲をどう使うかが大切だと思います。われに勝つ、「吾勝」を求めて。

- 三、仲良く稽古をする。相手がいるから自分を磨くことができ、自分がいるから相手も磨くことができる。

このようなことを大切にしながら合気道に出会った人々が長く合気道が続けていけるような環境をつくり、良い指導ができるように精進していきます。

連盟前相談役への 感謝状贈呈報告

理事長 三輪 明

6月24日(土) 林昭男副会長と共に埼玉県合気道連盟前相談役、入間幸武館道場・中島正吉様ならびに合気道越谷道場・石井知章様の連盟への永年の貢献に対して、クリスタル製の感謝状をお届けしました。

中島前相談役の立派な石庭のあるご自宅を訪問。92歳とご高齢にもかかわらず毎日腹筋トレーニングを欠かさないそうです。

石井前相談役は曹洞宗・浄土寺のご任職で檀家は千軒を超えており、土・日はご多忙との事。奥様に代理でお受け取り願ひ、大変喜んで頂きました。



彩のなでしこ

N A D E S H I K O



合気道 一期一会

深谷合気会 永野晴美

一期一会 よく聞く言葉ですが、とても素敵な言葉だと思います。

この合気道との出会いが私の人生とまでいかなかった生活に大きな影響を与えてくれました。きっかけは市の広報に載っていた合気道教室の生徒募集の案内で、迷いながらも申込みました。

最初の頃は、何をやっているのかさっぱりわからず、全然覚えられないので「こりゃ私には無理かな…」と何度思ったことか。

そんな状態でも先生や諸先輩の親切な指導でどうか教室終了、もう少しやりたいと思い入会、それから、はや20年位になります。有段者にはなりましたが気持ちだけはいつも初心の頃を忘れないようにしたいと思います。

私がここまで続いているのは、合気道の魅力が一番な事は、いうまでもありませんが、先生や会員の方々と楽しく稽古のできる恵まれた環境にあったからだと思います。会社の人間関係とは違う職業・年齢など幅広い人が好きな事のために集まり稽古して心身を鍛え、

また演武会や講習会に参加し、今までの自分の交際範囲とは違った交流もでき、とても有意義に過ごすことができました。

今、趣味は何ですかと聞かれたら、「合気道と茶道」と答えます。どちらも私にとっては、とても大切なものです。やればやるほど奥が深く、これで終わりというものがなく一生懸命だと感じています。

深谷合気会は、本橋先生を中心に役員・会員が一致団結して種々の行事・稽古を行っています。

私も何歳まで合気道ができるかわかりませんが、彫刻家の平櫛田中の「六十、七十ははなたれ小僧、男盛りは百から百から、わしもこれからこれから」という言葉を女性版にして、「はなたれ小僧」にまだなっていないので、これから一層合気道の稽古に励み、その学んだ事を次の世代に伝えられるようにしたいと思います。

※このコーナーでは県内の女性合気道家をご紹介します。
自薦・他薦を問いませんので各道場よりのご応募をお待ちしております。

「彩の合気」への 投稿をお待ち しています。

- 表紙写真 / 写真1点あたり5MB以上のデータ
- 道場行事報告 / 原稿1,000文字、写真2点
- 彩のなでしこ / 合気道への想いを原稿800文字、写真1点

※画像はプリント写真もしくは写真1点あたり2MB以上のデータをお願いします。画像解像度が低いと印刷に適應いたしません。(プリント写真はご返却いたします。)

応募は郵送またはメールにて

登録メールアドレス変更の際は 必ず事務局までご連絡ください。

連盟情報を伝達する手段としてご登録いただいております加盟団体の登録メールアドレスですが、アドレスに変更が出た場合は速やかにご連絡をお願いいたします。特に下記の2例は、変更の連絡が忘れがちになりますのでご注意ください。

- 登録が携帯アドレスの場合、利用携帯電話会社変更があったとき。
- プロバイダーの変更を行ったとき。

〒352-0011 埼玉県新座市野火止 5-4-26
埼玉県合気道連盟事務局 佐々木淳一
メールアドレス sasaki@sainoaikei.com